

モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会（第4回） における主な意見について

【医学に関する意見】

《診療参加型臨床実習実施ガイドライン》

- 医学生が臨床実習を行う医業の範囲を定める際の指針やその内容は書かれているが、患者同意取得の指針が見当たらない。これは別に作られているのか、このガイドラインの中に書く必要がないのか。（歯科の改訂版を見ると、歯学生の臨床実習への御協力のお願いという包括同意の例示と、侵襲のかなりある場合の個別同意の例示がある）
- 指針の改定をしたと記載があるが、指針の具体的な内容は記載しないのか。
- コアカリとこのガイドラインの位置付けはどのようになっているか。（一体としてコアカリに入っているのか、それとも、例えばガイドラインのほうは場合によっては臨機応変に改訂するようなことが可能なのか）
- 臨床実習のスケジュールだが、診療参加型臨床実習の意図としては、1つの診療チームに3週間以上配属することということを強くお願いしたいと思う。
- 総合診療の実習の形態も指示していただけるとありがたい。
- mini-CEX、DOPS、EPA、その他いろいろな方略に関して、浸透を図る意味で動画などを作っていただけるとありがたい。
- 行為に関する同意については、包括的に同意を取るような形式になっているという理解で良いか。

《第2章 学修目標》

- 「S0：社会における医療の役割の理解」の「S0-01：社会保障」だが、憲法で定められた「生存権」を守る社会保障制度、公衆衛生とは何か、地域保健とあるが、その後に、母子保健や学校保健を加えてはどうか。

【歯学に関する意見】

《診療参加型臨床実習実施ガイドライン》

- 臨床実習の実施ガイドラインの中に、臨床実習の時間数を医学のように、ミニマムのものでも良いので、提示すべきではないか。
- 歯科衛生士と比べ、歯科技工士の記載が杓子定規で限定的な印象である。「歯科技工を介して行われるものとなる」と書いてあるが、「ものが主となる」とか、少し幅を持たせた書き方になるとよいのではないか。
- 医療関連職種との連携で、具体的に職種の名前があり、看護師から始まるが、最も連携を取る職種は医師なので、あえて医師は書いていないのか、どのような判断だったのか。（看護師の前に医師が入ると分かりやすいのかと感じた）

《第2章 学修目標》

- 災害時の口腔健康管理やスポーツマウスガードについては、かなりアベレージで必要な知識や技術になっており、学修目標に入れていただけないか。

- 臨床の知識のところに口腔とか歯の正常構造とか機能というものが入っている。しかし、生命科学としての歯学を考えるのならば、口腔を勉強していくためには、全身のことを知って、生命科学の中で歯とか口腔を勉強していくという形に章分けをした方が良いのではないかと。実際問題、CBT では、基礎科目の中で出題されているということがある。

《診療参加型臨床実習の内容と分類》

- 矯正、不正咬合の診察、検査診断、小児の歯科治療というのが 63 ページにあるが、ここを見ると、口腔衛生指導かと思う。上部にも歯科保健指導があって、これとどこが違うのか。また、地域包括ケアシステムとか、摂食嚥下リハビリテーションは非常に包括的な内容が書いてあって、学生はこの臨床実習のところで何を勉強したら良いのかがこの表でよく分からない。

《症候から鑑別すべき主な原因疾患》

- 整合性が取れていない (67 ページの④のところ、症候で口腔乾燥が出てきて、裏を見てみると、68 ページの味覚異常のところの疾患名で口腔乾燥が出てくる。69 ページの下のほうで、疾患名で外傷・炎症が出てきて、症候のところにも外傷・炎症が出てくる)
- 67 ページから症候と疾患が同じようなものが書いてあり、疾患に書いてあるものが症候に書いてあるように思う。医科の症候と違って見えるので、もう少しきちんと見て検討しないといけない。

《第 3 章 学修方略・評価》

- 医科と比べて歯科がかなり内容的に貧弱になっているので、ある程度、医科との整合性を持ってボリュームを増やすなりして、歯科の特性を出していくというような書き方にしたほうがよろしいのでは。

【全体（医学・歯学共通）に関する意見】

《診療参加型臨床実習実施ガイドライン》

- アンプロフェッショナルな行動を取る学生の対応について、医学教育モデル・コア・カリキュラム、あるいは、歯科教育モデル・コア・カリキュラムの改訂版ではどこに入っているのか。

《ボリューム》

- 内容が増えたことで、コア・カリキュラムというよりは、かなりボリュームが増えて、学生の負担が増え「コア」になっていないのではないかと危惧する。学生の負担増を軽減するような方策を取っていただきたい。

《その他》

- 医学教育ならびに歯学教育モデル・コア・カリキュラムに「スポーツ医学」と「スポーツ歯学」の項目を追加していただきたい。
- スポーツ医学、あるいは歯学という項目を追加していただきたい (医学：S0-06 に、社会科学の視点から捉える医療という部分に、スポーツ医学に関する項目を追加していただければと思います。歯学：口腔外傷という項目があるが小児の歯科治療の項目にマウスガードが入った方が良く思う。また、歯学の歯「B-3 予防と健康管理・予防の概念」があるが、ここに口腔外傷の特徴と予防について説明できる項目を追加してはどうか)